

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大空小	学校
-----	----

児童数	46
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.94	17.56	34.56	36.06	38.11	9.96	139.78	21.53	48.77
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.00	16.20	38.44	35.00	32.10	10.07	141.07	16.71	52.73
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

実技別では、男子は長座体前屈とソフトボール投げ以外で全国を下回っている。一方、女子は長座体前屈とソフトボール投げ以外で全国を下回っているものの体力合計点では大阪市を上回っている。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況を見ると、肯定的回答の割合が男子は全国・大阪市を上回っているが、女子は全国・大阪を下回っている。1週間の総運動時間のカテゴリー別では、男子は420分以上運動している割合が6割を超えており、普段から運動に慣れ親しんでいる児童が多い。女子は70%を超える児童が1時間以上運動しており、0分の児童の割合が全国・大阪市よりも低い。以上のことから、男子は運動に関する興味・関心の高さが体力・運動能力の向上に繋がっておらず、女子は興味・関心をもつとさらに記録の向上が見込まれると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では持久力向上を目的として、休み時間に全校児童で駆け足に取り組む「体力アップタイム」に2週間取り組んだ。児童は個々で目標の周回数を設定し、自分に合った走り方や呼吸の仕方、ペースを見つけながら体力向上に取り組むことができた。また、日常的に児童が運動に慣れ親しむことができる運動環境の整備として、今年度より竹馬や一輪車練習台を新規購入し、経年劣化していたなわとび練習台を新調した。休み時間に楽しそうに練習している子どもたちの姿が多く見られるようになった。

質問項目「どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか」の「楽しい」と回答した項目を見ると「できなかったことができるようになったとき」が対全国・大阪市比較で男女ともに上回っている。しかし「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」の最も肯定的回答の割合は、対全国・大阪市比較で男子は約-12p、女子が約-15p低い。以上のことから、子どもたちに成功体験を積み重ねかつ児童が主体的に参加できるような授業づくりが必要である。